



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6167 URL http://www.fujidie.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西嶋 守男
 問合せ先責任者(役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7182
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,265	9.0	1,191	56.0	1,207	62.4	773	49.0
29年3月期第3四半期	12,171	2.3	763	27.7	743	31.5	519	41.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 833百万円(134.8%) 29年3月期第3四半期 355百万円(88.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	38.67	—
29年3月期第3四半期	25.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,340	18,230	71.9
29年3月期	25,245	17,836	70.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 18,230百万円 29年3月期 17,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,868	1.3	1,110	△4.4	1,214	1.6	900	5.2	45.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	20,000,000株	29年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	ー株	29年3月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	20,000,000株	29年3月期3Q	20,000,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直し等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし世界経済においては景気は緩やかに回復しておりますが、北朝鮮問題、中国をはじめとする新興国の景気下振れリスク、英国のEU離脱問題、米国の新政権の政策動向等、依然として景気を下押しするリスク要素も多く、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは前年度に引き続き「革新」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。また、持続的な成長を目指し、①業務の効率化による収益率の向上、②海外売上への拡大・国内市場の深耕、③成長分野への注力に取り組んでおり、業務の効率化の一環として、平成29年5月に門司工場の生産機能を停止し、主に熊本製造所に生産を集約しております。なお、事業の成長、企業価値の向上を目指し、平成29年4月12日に東京証券取引所市場第一部への指定替えを行っております。

超硬製工具類では、海外向けの溝付きロールや混錬工具の販売が大幅に増加したことに加え、冷間フォーミングロールや超高圧発生用工具の販売も好調を維持し、売上高は3,550百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

超硬製金型類では、製缶金型や光学素子成形用金型が前年度特需の反動減で低調となったものの、自動車部品生産用金型の販売が堅調に推移し、売上高は3,114百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

その他の超硬製品では、スマートフォン部品生産用や自動車部品生産用の超硬金型素材の販売が引き続き堅調に推移したことに加え、生産設備用の各種装置部品の販売も増加し、売上高は2,950百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

超硬以外の製品では、前年度から好調の引抜鋼管の販売が大幅に増加したことに加え、鋼製およびセラミック製の自動車部品生産用金型等の販売も好調を維持し、売上高は3,650百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,265百万円（前年同期比9.0%増）となりました。利益につきましては、受注が引き続き好調に推移したことから、売上高の増加、稼働率の向上による原価率の低減等により営業利益は1,191百万円（前年同期比56.0%増）、経常利益は為替差損が減少したことにより1,207百万円（前年同期比62.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は773百万円（前年同期比49.0%増）となりました。

なお、連結子会社であるPT. FUJILLOY INDONESIAにかかる減損損失127百万円を特別損失に計上しております。

当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、25,340百万円（前連結会計年度末25,245百万円）となり、94百万円増加いたしました。流動資産は14,184百万円（前連結会計年度末14,056百万円）となり、127百万円増加いたしました。これは主に、仕掛品が238百万円増加、受取手形及び売掛金が202百万円増加、原材料及び貯蔵品が167百万円増加、現金及び預金が458百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は11,155百万円（前連結会計年度末11,188百万円）となり、33百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物（純額）が172百万円減少、機械装置及び運搬具（純額）が96百万円減少、建設仮勘定が107百万円増加、投資有価証券が71百万円増加、工具、器具及び備品（純額）が65百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、7,109百万円（前連結会計年度末7,409百万円）となり、299百万円減少いたしました。流動負債は5,288百万円（前連結会計年度末5,545百万円）となり、257百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる設備支払手形が596百万円減少、未払費用が448百万円減少、支払手形及び買掛金が462百万円増加、未払金が287百万円増加したことによるものであります。また、固定負債は1,821百万円（前連結会計年度末1,863百万円）となり、42百万円減少いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、18,230百万円(前連結会計年度末17,836百万円)となり、393百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が773百万円増加、配当金の支払いにより利益剰余金が440百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月31日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。通期の業績につきましては、原材料価格の上昇や老朽設備の代替等の設備投資、修繕費の増加等を見込んでおり、平成29年5月11日付の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,681	5,222
受取手形及び売掛金	4,768	4,971
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	136	173
仕掛品	1,240	1,479
原材料及び貯蔵品	839	1,007
繰延税金資産	173	174
その他	220	159
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	14,056	14,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,393	4,220
機械装置及び運搬具(純額)	2,817	2,721
工具、器具及び備品(純額)	241	307
土地	2,701	2,700
建設仮勘定	2	109
有形固定資産合計	10,156	10,059
無形固定資産		
その他	142	141
無形固定資産合計	142	141
投資その他の資産		
投資有価証券	354	425
長期貸付金	24	22
繰延税金資産	424	412
その他	88	94
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	890	953
固定資産合計	11,188	11,155
資産合計	25,245	25,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,178	2,641
短期借入金	383	382
1年内返済予定の長期借入金	72	37
リース債務	25	24
未払金	686	974
未払費用	777	328
未払法人税等	318	140
賞与引当金	280	397
役員賞与引当金	27	—
その他	794	360
流動負債合計	5,545	5,288
固定負債		
長期借入金	108	69
リース債務	27	20
繰延税金負債	8	15
役員退職慰労引当金	1	0
退職給付に係る負債	1,710	1,712
その他	7	2
固定負債合計	1,863	1,821
負債合計	7,409	7,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	164	164
利益剰余金	17,492	17,825
株主資本合計	17,656	17,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	143
為替換算調整勘定	183	195
退職給付に係る調整累計額	△105	△98
その他の包括利益累計額合計	179	240
純資産合計	17,836	18,230
負債純資産合計	25,245	25,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	12,171	13,265
売上原価	9,160	9,761
売上総利益	3,011	3,504
販売費及び一般管理費	2,247	2,313
営業利益	763	1,191
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	7	9
受取賃貸料	18	17
その他	12	17
営業外収益合計	45	51
営業外費用		
支払利息	12	7
為替差損	43	20
その他	9	6
営業外費用合計	65	34
経常利益	743	1,207
特別利益		
固定資産売却益	16	4
その他	—	0
特別利益合計	16	5
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	22	3
減損損失	—	129
特別退職金	36	—
特別損失合計	58	133
税金等調整前四半期純利益	701	1,079
法人税等	182	306
四半期純利益	519	773
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	519	773

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	519	773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	41
為替換算調整勘定	△217	11
退職給付に係る調整額	11	7
その他の包括利益合計	△164	60
四半期包括利益	355	833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	355	833
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。